



**WORLD
MASTERS
GAMES**
2027 KANSAI
JAPAN

ワールドマスタースゲームズ2027関西 大会概要

ワールドマスタースゲームズとは

1

国際マスタースゲームズ協会（IMGA）が主宰
概ね30才以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される

世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会

参加基準は年齢のみ

予選なし、
複数種目も登録可能

元プロ・アマ選手
問わず出場可能

誰もがメダリスト候補者！！

初戦から海外参加者との対戦が可能であることもワールドマスタースゲームズの特徴。競技種目は年代別で実施され、各年代別にメダルが授与されます。



国際マスタースゲームズ協会（IMGA）とは



年齢、性別、人種、宗教、そして競技レベルにかかわらず、スポーツ愛好家同士の友情や相互理解を奨励している世界的なマスターススポーツの代表団体で、スイスのローザンヌに本拠を置きます。

国際的な総合スポーツ大会を組織すること、スポーツを生涯続けることにより個人の身体能力の向上が可能であることの啓発（世界中の成人に対し定期的にスポーツの実施を促し、マスタースゲームズに参加するよう呼びかけ）を行っています。

本協会の目的は、“**スポーツ フォー オール**” ～Sport for All～ のオリンピック憲章における哲学の普及を行い、オリンピック・ムーブメントを支持することです。



これまでの開催大会

第1回(1985)

トロント
＜カナダ＞



61か国・8,305人

第2回(1989)

ヘアニング、
オールボー、オーフス
＜デンマーク＞



76か国・5,437人

第3回(1994)

ブリスベン
＜オーストラリア＞



71か国・23,659人

第4回(1998)

ポートランド
＜アメリカ＞



101か国・11,000人

第5回(2002)

メルボルン
＜オーストラリア＞



97か国・24,886人

第6回(2005)

エドモントン
＜カナダ＞



89か国・21,600人

第7回(2009)

シドニー
＜オーストラリア＞



95か国・28,676人

第8回(2013)

トリノ
＜イタリア＞



107か国・19,000人

第9回(2017)

オークランド
＜ニュージーランド＞



106か国・28,578人

第10回(2025)

台北、新北
＜台湾＞



約 25,000人

第11回(2027)

関西エリア
＜日本＞



約50,000人（目標）

Point
1

初めての
広域開催

Point
2

参加者約5万人目標
過去最大規模の大会



ワールドマスタースゲームズ2027関西概要

- 1 開催期間** 2027年5月14日（金）～ 30日（日）の17日間
- 2 開催競技** 公式競技 35競技59種目（他 オープン競技実施）
- 3 開催場所** 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
- 4 開催目標** 参加者5万人（国内3万人、国外2万人：150か国・地域以上）
- 5 主催** 公益財団法人ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会
開催府県政令市実行委員会及び開催市町等実行委員会
- 6 共催** 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- 7 後援** スポーツ庁



ワールドマスタースゲームズ
2027 KANSAI / JAPAN



エントリー概要



大会参加申込期間

アーリーエントリー : 2026年1月14日～

一般エントリー : 2026年3月2日～2027年2月28日



大会参加料金

競技出場者 : 国内在住 15,000円

国外在住 34,000円

競技関係者 : 国内在住 5,000円

サポーター 国外在住 20,000円

大会マスコット

「スフラ（Sufula）」

大会のエンブレムである桜をモチーフとするスポーツの妖精で、大会テーマの「スポーツ・フォー・ライフ」の頭文字が名前の由来。

スポーツを愛する人（する・みる・ささえる）を応援してみんなをハッピーにすることを特技とする。



参加対象者

概ね30歳以上とし、競技ごとに定める





■大会基本理念

一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典を創出する。

■大会テーマ

スポーツ・フォー・ライフの開花
(The Blooming of Sport for Life)

■大会コンセプト・エンブレム

- 個人（個性が輝く）「晴」舞台
一人ひとりの挑戦と可能性を開く
- 交流（多様性が交わる）「表」舞台
世代・地域・文化がつながる
- 文化（関西を魅せる）「華」舞台
関西の魅力と文化を発揮する
- 世界（グローバルを体感する）「大」舞台
国際色に溢れ感動を共有する
- 未来（将来に伝える）「夢」舞台
次世代にエネルギーと躍動感をおくる



ワールドマスタースゲームズ2027関西の特色

① 過去最大:参加者5万人(目標)

② 広域開催:関西全域(2府7県)

③ インクルーシブな大会(18競技)



ワールドマスターズゲームズの特徴と楽しみ方



「する」 ～do～

スポーツを愛する人々なら誰でも参加可能！
インクルーシブを実践するオープン型の大会



「みる」 ～watch～

家族や仲間も応援に来る、世代を超え
一緒に楽しむスポーツ大会



「ささえる」 ～Support～

ボランティアとしても参加可能
開催地住民も巻き込んだ大会運営



「集う」 ～gather～

大会参加者同士、ボランティア、地域住民と…
たくさんの新たな出会いと交流を生む大会

「楽しむ」
～enjoy～



「巡る」 ～travel～

大会参加者（国外）の滞在平均15日間
スポーツツーリズムを実践した大会

競技参加に加えて交流や観光を楽しめるよう大会オリジナルの交通パスやシャトルバスを運用し、利便性の向上を図ることで大会参加者の周遊を促進します。

また、大会参加者へのおもてなしとして特別な観光プランを各開催エリアで企画しています。

開催地ごとのおもてなし

開催エリアごとの交流の場

大会専用
宿泊サイト

ストレスフリー
の移動

交通パス
「WMGオリジナル
KANSAI ONE
PASS」



WMG2027関西
観光プラン

お土産
特産品

世界と地域を繋ぐ

全国の国宝・重要文化財建造物のうち約42%が存在



大会開催協賛社 (2025.12現在)

10

※アルファベット順

メジャーパートナー



パートナー



サポーター



メディアパートナー

